

さいたま市長 4月定例記者会見

平成21年4月15日(水曜日)

午後1時30分開会

○ 進 行 記者クラブの皆さん、定刻になりましたので、ただいまから定例記者会見を始めさせていただきます。

それでは、記者クラブ幹事社の共同通信社さん、よろしくお願いいたします。

○ 共同通信 4月の幹事社を務めます共同通信と申します。よろしくお願いいたします。

では、本日の記者会見内容につきまして市長から説明をお願いいたします。

○ 市 長 それでは、皆さん、こんにちは。記者会見を始めさせていただきます。

本日の議題は、2件であります。

議題1、八都県市首脳会議の開催についてご説明いたします。

第55回目となります八都県市首脳会議を4月23日の木曜日、午後1時半から、千代田区にあります都道府県会館で開催をいたします。

この会議には、埼玉県の上田知事、このたび当選をされました千葉県の森田知事、東京都の石原知事、神奈川県松沢知事、横浜市中田市長、川崎市の阿部市長、千葉市の鶴岡市長が出席をされる予定であります。

今回の会議は、さいたま市が開催担当ということで、私が座長を務めさせていただきます。

主な議題といたしましては、一つは地方分権改革の推進に向けた取り組みであります。引き続き、国に対して要求をしまいたいと考えております。

もう一つは、第4回首都圏連合フォーラムの開催についてであります。第4回首都圏連合フォーラムは、秋に行う予定となっておりますが、今回の首脳会議において、テーマ分野などの骨格をあらかじめ決めておくものでございます。

そのほか、各首脳からの提案につきまして、協議を行う予定となっております。

八都県市首脳会議は、都県市の枠を超えた強固な連携のもと、首都圏を

取り巻くさまざまな広域的課題の解決に向けた提案を直ちに実行に移すことのできる大変有意義な会議と認識をいたしております。

これまで、ディーゼル車の排気ガス対策や官民共同で実施をした地球温暖化防止一斉行動（エコウェーブ）など、数々の実績を重ねてまいりました。

さいたま市としても、さまざまな提案をしてまいりましたが、AEDが官民間わず普及をし、救命事例が多数報告されるようになってまいりましたのは、本市が提案をし、八都県市で取り組んだ結果と考えております。

残念ながら、開催担当の座長は首脳提案を行わないというのが慣例でありますので、今回の首脳会議では、さいたま市からの提案は見送ることといたしました。首脳会議当日は、実質的な議論を行い、首都圏のみならず、全国を牽引する取り組みに結びつくよう充実した会議にいたいと考えております。

議題1については以上です。

続きまして、議題2、広告付きバス停上屋の実証実験が行われますについてご説明をいたします。

このたび、さいたま市内で、市民に身近な公共交通であるバスの利用促進を図るため、広告付きバス停上屋の設置に関する実証実験が行われることとなりました。

広告付きバス停上屋は、屋根やベンチが設置をされるため、バスを利用される方々の利便性が増すだけでなく、まちの景観や美観、さらには夜間における防犯の観点からも全国的に注目をされ、横浜市や川崎市などの政令市を初め、全国各都市で導入され、一定の成果を上げておりまして、埼玉県内では本市が初の試みとなります。

広告付きバス停上屋は、広告板を添加することにより広告事業者が広告収入によって上屋の製造、設置、維持管理を行うことから、バス事業者や自治体は、みずからの費用を負担をすることなく上屋整備を推進をすることができます。

こうした広告付き上屋を市内に整備をしていくため、市内数カ所にモデル上屋を設置をし、快適性や都市イメージ、夜間照明による防犯効果などについてアンケート調査を行い、その効果について検証を行います。

実験期間は、本年5月から6か月間といたしております。

今後の予定であります。実証実験において、モデル実証実験の検証の結果を市に報告をしていただき、良好と認められた場合は、バス事業者及び広告事業者で整備計画を策定をし、順次整備を行っていくこととなります。

なお、別添参考資料のとおり、先月の25日に北区の本郷住宅バス停を初め、3か所でモデル上屋が設置をされており、5月中には新たに4か所で設置をされ、効果を検証する予定でございます。

議題についての説明は以上です。

さて、ゴールデンウィークが近づいてまいりますと、市内各地でイベントが開催をされます。

案内チラシ等をご用意いたしましたので、取材の上、多めにPRをしてくださいますようお願いをいたします。

私からは以上です。

- 共同通信 それでは、市長説明について質問がありましたらお願いします。
- 埼玉新聞 バス停についてなんですけども、これは広告収入と維持管理費は、これは行って来いということなんですかね。それでペイできるということか。
- 市 長 だから、実際につくるのは広告事業者ですよ。だから、それが広告収入を得ることによって、その建設と、それから、例えば電気料もありますよね、いわゆる夜間照明がありますから。そういったものを含めた維持費がそれでもって賄えるということになりますので、バス事業者も臨時の支出はありませんし、市としてもないと。お互いにですね、そういった中で、先ほど来いろいろ申し上げておりますようにですね、特に雨降ったとき等ですね、傘を差してバスに乗り込むというのも危険なこともありますので、そういったことを広めていっていただくというふうに思っております。
- 埼玉新聞 3か所については、既にこれはもう利用しているということによろしいんですね。
- 市 長 そうですね、おっしゃるとおりでございます。4か所というのはこれからになりますが、資料に写真が撮られていますよね。この写真ですね。このようなものができるということでありまして、もう既にこのような本郷住宅、それから中道公園入口、これにはできていると。直角タイプ、並行

タイプって、この広告板そのものが道に対して直角になるか、並行になるかという、そういう表現です。

○日本経済新聞　日本経済新聞ですけれども、この広告収入によって得られる収益が市に入ってくることはあるんですか。広告収入による収益が……

○市　長　　ありません。

○日本経済新聞　これは全くない。

○市　長　　ありません。

○埼玉新聞　　バス会社へということですよ。

○市　長　　バス会社と広告代理店。代理店が間に入りますから。

○共同通信　　八都県市首脳会議で、今回座長ということで提案行わないということですが、今回千葉県森田健作知事、新顔で出席しますけれども、市長として、こういった、こんな雰囲気では会議を進めたいとか、こういうような、そういうのはありますか、何か。

○市　長　　そうですね、この八都県市首脳会議というのはですね、私のこれはとらえ方なんですけれども、今いろんな会議がありまして、例えば指定都市市長会議だとか、全国市長会議だとか、そういういろんな会議がありますけれどもね、この八都県市首脳会議というのは、ある意味では関東地方という八都県ですから、ある意味で利害と言う言葉がおかしいんですけども、いろんなですね、方向性が一致をすることが多いということがまず挙げられます。ですから、そこで提案され、承認されたことは即実施ということは非常に多いですね。例の排気ガス、ディーゼル車規制の問題だとか、それからさいたま市が提案したAED、これらも随分各地で見られるようになりましたけれども、そういう即実行型の首長会議というのは、ほかにはちょっとないんじゃないかなというふうに私は思っております。

森田健作氏がですね、当選されましたけれども、私も別に面識あるわけじゃないし、昔テレビで見た程度なんでね、よくわかりませんが、こうやって拝見するところ、明るいキャラクターのようでありまして、決断力も十二分におありというふうに見受けられますのでね、一緒にこの首都圏をよりよいものにしていこうということでは当然一致をしてくると思いますから、これからの活躍にですね、大いに期待をいたしたいというふうに思っております。

○ 共同通信

ほかにありますか。

それでは、幹事社から1つ質問させていただきます。定額給付金支給事務が、さいたま市でもいよいよ始まりますが、市長として改めて給付金に関連して市民に呼びかけたいことがあれば教えてください。

あと、市長ご自身が給付金を受け取った場合、何に使われるか使途が決まっていたら教えてください。

○ 市長

定額の給付金、あと割合にニュースなんか取り上げられないんですけども、子育て応援特別手当ですね、これはかなり限定的な給付にはなりませんが、金額的にはかなり高いというのですが、これの申請書を4月20日、月曜日に発送をいたします。さいたま市では約51万世帯ありますから、全世帯に郵送されるのには3から5日かかるということをお聞きしておりますので、もうしばらくお待ちをいただければと思っております。

なお、給付の開始日ですが、同封の返信用封筒で申請書及び必要な添付書類を返信をしていただき、審査の上、口座振り込みの手続を行います。5月の連休過ぎには給付を開始できるのではと考えております。

また、既に申請書の受け付けを開始をしている自治体で、添付書類が同封されていないといったケースが多く、振り込み作業に支障を来していると聞き及んでおります。

振込先の口座が、世帯主または世帯の構成員の口座であれば、添付書類として通帳またはキャッシュカードのコピーをお願いいたします。通帳またはキャッシュカードのコピーは、正確に振り込むための目的のほか、本人確認書類としても必要なものであります。

速やかな支払い手続のためにも、添付書類は必ず同封をしていただきたいと思いますと思っております。

なお、やはり高齢者住宅等ではですね、世帯等では、もちろん複写機というのは家にありません。そういった中で、コンビニですとかね、そういったところにそういう依頼が多分あるでしょうから、親切、迅速に対応してくださいということは市のほうから申し上げておきたいというふうに思っております。

さて、同時に、振り込め詐欺、これについても注意喚起をしなければな

らないということで、既に全国では、定額給付金をめぐる詐欺が発生をしております。さいたま市では、市民の皆様からお問い合わせがない限り電話をすることはございませんので、詐欺と思われる電話がかかったり、不審な人物が自宅に訪れたりしたら、即刻警察に連絡をしていただきたいと思いますというふうに思っております。

次に、給付金を受け取ったら何に使うんですかと、こういう話ですが、今回の商店街のにぎわいやさらなる活性化を促す、さいたま市としては初めての商店街統一キャンペーン、これを実施をいたしますので、市内商店街ですね、何か買い物をしたいなというふうに思っておりますが、大体こういうのは奥さんの支配下にありますので、多分私の支配下には入ってこないんじゃないかというふうに覚悟を決めております。

- 共同通信 わかりました。ありがとうございます。
 幹事質問について質問がありましたらお願いします。
- 読売新聞 読売新聞です。
 詐欺防止の件ですけれども、定額給付金詐欺防止の件ですけれども、問い合わせがない限り電話をすることはないと今おっしゃいましたけれども、一切電話しないということではなかったんでしょうか。
- 市 長 そうですね、電話で問い合わせがあった場合には、もちろん応答いたしますし、それから締め切りが迫ってね、書面じゃ間に合わないというような事態が発生した場合には、臨時的に電話で連絡をすることもあろうかというふうに思っておりますけれども、ですからなるべく早くですね、この申請をしていただきたいと思いますということをお願いをしてまいりたいというふうに思っております。
- 読売新聞 締め切りが迫ったら電話をするかもわからないわけですか。
- 市 長 そうですね。じゃ、担当のほうから。
- 事務局 経済政策課でございます。
 締め切りは、申請受け付け開始から6か月後ということになります。そうしますと、10月の下旬でございます。ただ、10月下旬間近にですね、申請書が送られてきた。その中の申請書に誤りがあった場合ですね、郵送等では締め切りが過ぎてしまうというおそれがあった場合に限っては、郵送以外で連絡をとる可能性はございます。原則は郵便等での連絡という形

○ 市長 いや、数的にですね、何%ぐらい、じゃ果たしてね、電話でやらざるを得なくなるか。いわゆる申請期限直前の申請だとか、再送付したものがまた戻ってきてしまったというような場合ですから、何%ぐらいがそれに適用するかというと、それほどの率ではないというふうに私は推測をしておりますのでね、おっしゃるような非常に大きな問題になって、社会問題になるようなことは多分ないだろうというふうに思います。

○ 共同通信 給付金についてほかにありますか。

それでは、幹事社質問以外でありましたら自由をお願いします。

○ 埼玉新聞 先日、神奈川県知事が羽田、成田両空港を結ぶリニアモーターカーの建設構想を出されましたが、その中にさいたま新都心への路線案も盛り込まれていたということで、こうした構想について、まず市長の率直なご意見をお伺いしたいのと、あと今後こういった構想について実行性の可能性について、ちょっとお話を伺いたいんですけども。

○ 市長 その件については、いまだですね、その議論をしたという経過はございません。松沢成文知事がですね、ある意味では私案みたいな形で出されたんだろうというふうに理解をしております、リニアモーターカー、かなり昔ですね、埼玉県知事が畑和知事だったころの話、このさいたま新都心からですね、そのころのさいたま新都心というふうな確固たるものはなかったんですけども、大宮駅周辺からというふうな表現でしたけどね、成田までリニアモーターを何とか出せないかということで大分、県のほうですね、調査をした経過があります。いつの間にかと申しますか、ちょうどそれは 88年さいたま博覧会ね、今、各県持ち回りでやっている博覧会ですが、そのさいたま博のときにちょうどそれがピークになっていまして、そのとき実験的にリニアモーターカーが博覧会の会場内に設置をされて、私もそれに乗せてもらった思い出がありますけれども、その後、進展が余りなくてですね、そのままになってしまったと、さいたま発成田行きという話はですね。ですから、今回こういう形ででも再燃してきたということは、その当時を思い出しますとですね、これは大変楽しい夢プランだなというふうに思っております。

ただ、リニアモーターというのは最速最短というのが1つの基本ですから、そういった中で今松沢成文知事が提唱された路線とはまた別個な考え

方で、例えば羽田、さいたま新都心というふうな別個の考え方でやらないと、現実的には難しいのかなというふうな、これは感想としてね、そんな感じを受けました。

○ 埼玉新聞 今度のその八都県市の会合の中で、そういったお話も出る可能性は、公式ではなくても。

○ 市長 そうですね、出る可能性はあるかもしれませんですね。今ある意味ではですね、予定として各首脳の提案等ということで、とりあえずの予定ということはいただいておりまして、皆様ご承知のとおりでありまして、これ予定は未定でありましてね、特にこの八都県市首脳会議というのは、その日になってね、提案の中身が変わったりという非常に流動的な、つくってあった文章を読む会議じゃありませんので、今お話のようなりニアも出てくる可能性もあります。ただ、事前のちょっと伺っている話では、それについては触れているところはございません。

○ 埼玉新聞 ありがとうございます。

○ 時事通信 時事通信です。

先日何社かの新聞には出ていましたけれども、市内公立小学校で児童の携帯の持ち込みを容認する学校が1校出てくるという話がありました。これに関してですね、2点ちょっとお伺いしたいんですけど、市長ご自身は児童が小学校に携帯を持ち込むということについてはどうお考えかということが1点。

もう1点は、これが今後ほかの公立小学校に波及した場合、市としてどういう対応をしていくのか、市として認めるのかどうかとか、そういう議論がもしなされていたら教えていただきたいと思います。

○ 市長 議論は、まだ余り深くしてはおりません。ただ、私はですね、この小学生の携帯の持ち込みということに関してはですね、安否情報、これについてはこういった時代ですから、ある意味では必要なのかなというふうには思っておりますが、じゃそれは携帯がいいんだろうか、他の方法がいいんだろうかということ考えたとき、GPSが私は一番適当なんではないのかなというふうに思っておりますですね、これはこれからの選挙公約にもつながってくるんですけども、いわゆる携帯の持ち込みは禁止をして、全児童にですね、GPS、これ全児童ですね、これを貸与するということ

で位置確認をするということを1つの政策としてですね、やって、マニフェストですかね、としてやっていきたいというふうに思っております。これは、私が考えていることですから、もし選挙で別な市長さんが当選されて、そんなの必要ないよと、どんどん携帯持っていかせりゃいいじゃないかということになれば、それはそれです。

- 時事通信 はい。
- 埼玉新聞 今回その小学校で導入しているものとは、全く別のものということですか。
- 市 長 まだよく話聞いていないんですけどね、中身がどういうGPSだって。
- 埼玉新聞 要するに携帯電話のオプションサービスを使っただけのもの。
- 市 長 ですね、今のところはね。
- 埼玉新聞 の検索機能ということで。
- 市 長 ですね。
- 埼玉新聞 一つは、要するに児童側から通話が、何かあった場合に位置を知らせるだけではなくて、児童側から通話ができるもの……
- 市 長 それを始めちゃったら、本当に携帯電話になっちゃいますからね。
- 埼玉新聞 ええ。
- 市 長 安否確認ですから、GPSでかなりの部分ですね、カバーできるんじゃないかなというふうに思っております。
- 朝日新聞 朝日新聞ですけども、先日ちょっと一部報道で、市長が2月の当初で目玉に掲げたですね、待機児童の解消策ですね、無認可施設、認可外施設の、いわゆる負担格差を是正する施設への上限2万円の補助について、一部便乗というのがふさわしいかどうかわかんないですけども、市のねらいどおりに運用されていないという声が上がっているというのがありましたけども、それについて市長は、今現状をどう把握されていらっしゃるんですか。
- 市 長 何件ぐらいそういう例があったかということ等についてはですね、後ほど担当のほうからお話をさせていただきたいと思いますが、やはり今回の軽減措置というのは、「子育てするならさいたま市」ということでキャッチフレーズをつくって、子育て支援のほうに今力を入れている本市としてはですね、やはり何としても待機児童をなくしたいということの中で、保護

者の方が認可外保育所を利用しやすいようにという意味合いで、保護者負担が大幅に軽減されるようにという方針であります。

今回報道がされていますようにですね、十分な保育料の軽減がなされていないということであれば、非常に残念なことでありまして、値上げをしているとした場合、その詳しい理由を所管の方に調査をさせ、この軽減制度の趣旨を施設側に十分理解をしていただき、協力を強く求めていくということになります。記事にあった非常に高額なところについてはですね、既に値上げは撤回していただいているというふうに聞いております。担当だれか。

- 事務局 保育課でございます。何件ぐらいということなんですけども、今それについて調査をして、今後していくということで検討しております。
- 朝日新聞 じゃ、その値上げがあった施設というのは、現時点で把握しているだけでどのぐらいあるんですか。
- 事務局 その辺につきましても……
- 朝日新聞 調査。
- 事務局 ええ、調査を実施してまいります。
- 市長 これらのこういう制度をやるときには、もう当然な話ですけどね。そういった代表を集めて、こういう趣旨だからということは十分に説明をしたつもりだったんですけども、中にはやっぱりそういうふうなですね、便乗的な値上げを想定はしていなかったんですが、想定をしてしまったと、便乗値上げが起きてしまったと。ただ、便乗値上げであるかないかという問題について見ると、諸経費の高騰だとか、そういったいろんな中で、今回の軽減制度がもしもなかったとしても、やっぱり値上げをせざるを得なかったという保育園さんはですね、幾つかあるのかなというふうには思っております。その辺についてもですね、どういうことなのかよく調査をさせていただいて、園の事情等も聞きながらですね、処置をしてみたい。全部が全部、便乗値上げだというふうに決めつけるわけにもなかなかいかないんじゃないかなというふうに思っております。
- 朝日新聞 今、各全国の知事とかがですね、国の直轄事業に関して、これは理不尽だみたいなものが結構出ていますけども、さいたま市の中でそういう疑念があるようなですね、事業があるかどうか。また、その国に対して何か働

きかける用意か何かあるのかどうか、お聞かせいただければと思います。

- 市長 国の直轄事業でありますけれども、直轄事業負担金ということの中で、大きく分けて事業そのものの負担金、それから維持費の負担金、それからもう一つは庁舎建設費等が含まれていたかどうかという負担金の中身、この3つぐらいですね、ぱぱっと分類できるのかなというふうに思いますけれども、さいたま市の立場としてはですね、やはりこの直轄事業負担金というのは廃止を含めた抜本的な見直しを検討していただきたいということと、特に維持管理費に対する地方負担は、これは即時に撤退をすべきだという立場であります。

問題となっております負担金の精算、積算や使途、いわゆる庁舎の建設費等の話ですけれども、これについては直ちに透明性を確保する必要があるだろうというふうに思っております、さいたま市における直轄事業負担金は、直轄国道の国道16号、17号、298号、この3本が対象となっておりますが、国交省の資料によりますと、さいたま市においての出先機関の庁舎建設費は含まれておりませんでした。庁舎建設費は、道路整備とは直接関連のない経費でありますから、地方に負担を求める性格のものではないだろうというふうに認識をいたしております。

- 共同通信 ほかにどうでしょうか。

- 時事通信 プラザノースの横の今あいている土地についてなんですけれども、ここに病院を建てる計画があるというふうにお伺いしまして、もしそうだとしたら、どのくらいの規模の病院をいつごろまでに建てる予定があるのかとか、今決まっている時点のことをお伺いしたいんですけれども、いいですか。

- 市長 病院を建てようというプランもございます。ご承知のようにですね、大宮医師会立病院、これが老朽化による新築移転ということで西区の島根に移転をして、今市民医療センターということで開業されておりますが、その大宮医師会立病院の中で一番の特徴というのは小児夜間救急医療、これを市内を引き受けていたというのが大きな一番の特徴でした。それは、何とかですね、継続をしないと、子供たちの命にかかわるというふうな意味合いで、このすぐそばにあります社会保険大宮総合病院、ここでもって小児夜間救急医療を引き継いでもらっていて、3月1日から引っ越しが

始まったわけですが、その業務内容の引き継ぎは怠りなくですね、やっていただいております。これ旧4市の全医師会の協力、また医療センターとかさいたま市立病院とか、自治医大、日赤、それから埼玉保険病院とか、そういったいろんな医療機関がみんな協力をしていただいて、その医療の継続性を図る。そういった中で、やっぱりこの総合病院も大分老朽化をしていますから、移してですね、そして新築をして新しい医療機関として機能してもらおうと、こういう計画もあります。ただ、ご承知のように社会保険庁そのものがここで解体をされますので、この社会保険病院の上部機関がなくなるという、そういう状況の中ですから、しっかりした、もう既に事業を行っている医療機関ですね、そういったところにお引き受けをいただくということで今調整を進めているさなかでありますから、中身的にはまだ決まっております。

- 時事通信 じゃ、その事業者が決まれば、もうあとは建設ですとか、そういうものはもう着々と.....
- 市 長 国というか、その社会保険庁なり、それを管轄する省庁の許可がないとできません。
- 共同通信 ほかにありますか。
- 埼玉新聞 キャラクターのヌウのことなんですけども、自由に使っていたきたいというふうに前回の会見のときにお話ありましたけど、その後何か応募状況とか、何かユニークな使い方が出てきたというような例というのは、今のところ何かございますでしょうか。
- 市 長 じゃ、広報か、これは。報道監か。
- 事務局 所管課は企画調整課になりまして、きょうは申しわけないんですが、同席しておりません。
- 市 長 だそうです。
- 埼玉新聞 はい、わかりました。
- 事務局 後ほど所管課を記者クラブのほうへお伺いさせて、ご説明させていただきます。よろしくお願ひします。
- 埼玉新聞 ありがとうございます。
- 市 長 評判いいんですよ、この子は、割合に。今のちっちゃな子供というのは怪物が好きなんですね。これ怪物みたいでいいというね、割合に人気があ

りますので、ゆるキャラとして育てていきたいなというふうに思っています。

- 埼玉新聞 わかりました。
- 共同通信 よろしいですね。
 じゃ、きょうはどうもありがとうございました。
- 市 長 はい、お疲れさまでした。ありがとうございました。
- 進 行 以上をもちまして定例記者会見を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

午後2時07分閉会